

呼吸器内科

堀田 尚克 先生

山口県出身。岡山大学医学部卒業。
日本内科学会専門医、日本呼吸器
学会専門医、日本呼吸器内視鏡学
会専門医、がん治療認定医。



doctor
interview

呼吸器外科

杉本 龍士郎 先生

福山市出身。岡山大学医学部卒業。
医学博士。日本外科学会専
門医、日本呼吸器外科学会専
門医、がん治療認定医。

「肺がん」について教えて！

肺がんは50歳以降に増え始めます。
検診や喫煙者であれば禁煙を推奨します。

肺がんは半分以上が
進行した状態で発見される

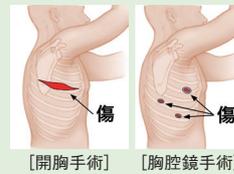
肺がんは男性で4番目、女性で3番目に多いがんです。ただし、がんで亡くなる人の数になると、男性は1番目、女性は2番目です。それは、半分以上の人が進行した状態で発見されているから。喫煙が肺がんの原因になることは知られていますが、実はたばこを吸わなくても、多くの人が肺がん罹患しています。そのため胸部X線検査やCT検査による検診を積極的に受けることが大切です。呉市内の検診率は約50%弱なのが現状。早期の肺がんは手術で切除すれば治癒する可能性が高くなりますので、検診を受けることをおすすめします。

部位別がん死亡数の順位

	男女計	男性	女性
1位	肺	肺	大腸
2位	大腸	大腸	肺
3位	胃	胃	膵臓
4位	膵臓	膵臓	乳房
5位	肝臓	肝臓	胃

肺がんの治療法も
進化し続けています。

従来の治療法



[開胸手術] [胸腔鏡手術]

当院の主な治療法



[単孔式胸腔鏡手術]

呉共済病院では、放射線科・呼吸器外科・呼吸器内科の医師が集まり、最善の治療法を検討する場を週に1回設けています。早期の肺がんであれば、傷口が1ヶ所の単孔式手術を当院では採用しています（呉市内は当院のみ）。開胸手術や胸腔鏡手術に比べ、患者様の負担も少なく痛みを軽減し、回復が早い印象です。進行した肺がんは抗がん剤で治療します（放射線治療と併用することもあります）。がん細胞の遺伝子などを詳しく調べ、一人ひとりに最適な抗がん剤を選択することで、長期に生存できる方が増えています。また、進行した肺がんには痛みや息切れなど様々な症状を伴うことが多く、苦痛を軽減する治療（緩和療法）も重要なため、多職種で構成する緩和ケアチームとも協力して治療やケアに当たっています。不安があれば、検診を受けるか、近くのクリニックを受診してください。

まもりたい、あなたの明日と地域の医療。



☎0823-22-2111 (代表)

① 呉市西中央 2-3-28
② 土曜、日曜、祝日、年末年始(12月29日~1月3日) ③ 有



病院長 寺坂 薫 脳神経外科専門医

理念 高度・良質の医療、最善の奉仕、地域医療の支援、研鑽と協調

診療科 内科、外科、呼吸器内科、呼吸器外科、消化器内科、消化器外科、内視鏡外科、肝臓内科、循環器内科、心臓血管外科、脳神経内科、脳神経外科、整形外科、代謝内科、腎臓内科、泌尿器科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、気管食道外科、乳腺外科、形成外科、婦人科、皮膚科、眼科、アレルギー科、救急診療科、総合診療科、血液内科、放射線科、麻酔科、ペインクリニック内科、歯科、歯科口腔外科、病理診断科、リハビリテーション科、健康医学センター

公式LINE



YouTube

